

## 令和3年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・児童一人一人に応じた「めあて」を立たせることができ、主体的な学習ができた。
- ・コロナ禍における体育の学習で、ソーシャルディスタンスを保つ状態で運動ができた。
- ・学習の中で学習カード・資料・映像を活用しながら、個々の技能を高めることで対話的な取り組みができた。
- ・単元を通して、学習カードや体育ノートを活用したことで、授業での振り返りや次時の「めあて」を立たせることができ、深い学びにつなげることができた。
- ・グループで技能向上への練習方法を考え、個人やグループのために意欲的な運動ができた。

#### (2) 課題

- ・45分間の授業で、児童に十分な体力の向上を図るまでの運動量の確保ができなかった。
- ・マスクやソーシャルディスタンスを考慮した中で、従来取り組んできた運動が制限され、個々の技能の向上を図ることができなかった。
- ・上記理由により、年間指導計画にある内容の運動に取り組むことができなかった。
- ・なわとびカードを提示したが、熱心に運動に取り組む児童とそうでない児童がおり、技能に差があった。カードの工夫や時間の確保など意欲を持続させる手立てを考えたい。
- ・学習カードの利点は実感しているが、記入する時間の確保が大変だった。

### 2 令和3年度授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動経験を積むことができるように運動量を確保し、年間を通して運動遊びを取り入れたり、様々な運動が出来る場を設定したりする。 (指導計画・授業構成)</li> <li>・動きや技能を上達させるために、児童に自らの学習課題をもたせる。(授業形態)</li> <li>・ねらいとしている動きが出来ている児童に対して、ICTを活用しながら、全体の場で賞賛し、紹介できるようにする。(授業形態)</li> <li>・体力を向上させるための運動を年間通して計画的に実施する。(学習習慣)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の良いところや自分のよいところを認識できるように、学習カードを使って交流する。(授業構成)</li> <li>・体育ノートやICTを活用し、学習の振り返りや次時に向けた学習課題の修正と解決をできるようにする。 (授業形態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の楽しさを感じることができるよう、運動遊びを多く取り入れる。(授業構成)</li> <li>・児童の運動意欲を高められるように、学習カードにめあてや振り返りを記入する。 (授業構成)</li> <li>・順番やきまりを守り、誰とでも仲良く運動できるように、ペアやグループでの活動を積極的に取り入れる。 (学習形態)</li> <li>・順番やきまりを守って仲よく運動したり、勝敗を競ったりするなどの態度を育成する。 (指導計画)</li> </ul>

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能を身に付けさせるために、個の実態に応じたスモールステップで、運動を行い、多様な運動につながるように指導する。 (指導計画・授業構成)</li> <li>・ICT機器や教師、友達を通して、手本となる動きや中学年の実態に応じた動きのコツを伝える。(授業構成)</li> <li>・授業の始めに、主運動につながる動きを取り入れた遊びやゲームを取り入れる。 (授業構成)</li> <li>・運動の行い方を正しく理解させるために、第1時では、はじめのルール(ゲーム領域)や運動の行い方を徹底するためのオリエンテーションを実施する。 (授業形態・指導計画)</li> <li>・一人一人の児童に、運動技能を確実に身に付けさせるために、ねらいとする動きを全体のめあてとして提示したり、技のポイントを示したり、教え合いを通じて動きのコツを体得したりすることができるようにする。 (授業構成)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の運動の課題を見つけ、解決のための活動を工夫させるために、動き方や練習の仕方の工夫や練習する場を選択させる。(授業携帯)</li> <li>・活動を振り返ることができる『学習カード』を活用する。○を付けるだけのものや一言で振り返ることのできるカードなどを活用する。 (授業構成)</li> <li>・自己だけでなく、チームやグループ活動の中の課題を見つけ、課題を解決するための方法や活動を工夫しながら考えたり、互いの動きの良さについて見つけ、考えたことを伝えたりする活動を取り入れる。(授業構成)</li> <li>・児童の考えていることを言葉にして表出させるために、問いかけを中心として言葉掛けの指導に重点を置く。(指導方法)</li> <li>・考えたことを表現するために、動きのコツを伝え合ったり手本を見せ合ったりするなどの教え合いの機会を設定する。(授業形態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の楽しさや喜びに触れることができるよう対話的な活動やICTによる動画を活用する。(授業形態)</li> <li>・運動に楽しむ姿勢や一生懸命に取り組んでいる姿を積極的に褒め全体の意欲向上につなげるようにする。</li> <li>・運動の仕方や技能のコツを掴ませ、できる喜びを味わわせ、運動の楽しさを実感させていく。(授業構成)</li> <li>・全員が活躍できる場やルールを設定する。(授業構成)</li> <li>・感染症予防に気をつけながら運動の楽しさを味わわせる。 (授業形態)</li> <li>・自らが主体的に課題解決的な学習に取り組めるようにするために、友達と運動する楽しさやできる喜びを味わえたり、学習の見通しをもてたりする指導計画を立てる。(指導計画)</li> <li>・課題解決的な学習に沿った学び方を身に付けさせるために、学習カードを活用し学びの蓄積をしていく。 (教材・教具)</li> </ul>

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が自分の実態に応じた学習課題を設定し、課題解決する場を設定することで、技能を高めることができるようにする。 (授業形態)</li> <li>・感染症予防対策として、手洗いや、正しいマスクのつけ方を理解する。(指導計画)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び合う活動では、ICT機器を活用し、お互いの技を録画して見合う。また、振り返り活動もタブレットやワークシートに記録し、児童が自身の活動を客観的に振り返られるようにする。(授業構成)</li> <li>・学習カードや学習資料を活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人に役割を与え、仲間に対して、適切な言葉かけを行わせ、チームの仲間と協力する態度を養う。 (授業形態・授業構成)</li> <li>・児童が課題解決的な学習の学び方を身に付けるために、学習カードを活用して学びを振り返ることがで</li> </ul>

<p>・心の健康とけがの防止及び、病気の予防について正しく理解できるよう、掲示物を活用する。(授業形態)</p>	<p>し、自己の課題とその解決方法(行い方の工夫、場の選択、ICTの活用)を考えられるようにする。(授業構成)</p> <p>・場の工夫やめあての振り返りを充実にさせることで、課題解決について考えたことを他者に伝えること(学習カード、発表、アドバイス)ができるようにする。 (授業形態・授業構成)</p>	<p>きるようにする。 (教材・教具)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童にめあてをもたせ、主体的に解決させるよう指導する。(授業構成)</li> <li>・けがの防止のために積極的にストレッチを取り入れる。(授業形態・指導計画)</li> <li>・ソーシャルディスタンスを保つ中で運動の楽しさを味わわせる。(授業構成)</li> </ul>
--	--	---

### 3 今年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

##### 【低学年】

- ・単元を通して学習カードを活用し、めあてに対する振り返りをすぐに行うことで、運動意欲向上へ繋げることができた。
- ・学習カードを活用することで、友達の良いところや自分の良いところを認識することができた。
- ・授業の導入として運動遊びを取り入れることで、運動の楽しさを感じさせることができた。
- ・年間を通して、どの単元も様々な運動遊びに取り組みさせることができた。
- ・どの単元も学習カードを活用しその時間のめあてを立てて、取り組ませることができた。めあてや振り返りを書かせる経験をさせていくことで、習慣化することにもつながった。
- ・「おにごっこ」を年間通して取り組んだことによる、児童の体力の向上を図ることができた。
- ・学習カードに友達の良いところや、出来るようになるために教えたところなどを記入させ、意欲の向上を図ることができた。

##### 【中学年】

- ・ICT機器や教師、友達を通して、手本となる動きや中学年の実態に応じた動きについて知ることができた。
- ・授業の始めに、主運動につながる動きを取り入れた遊びやゲームを取り入れ主運動への動きのコツを身に着けることができた。
- ・児童一人一人に応じた「めあて」を立たせることができ、主体的な学習ができた。
- ・単元を通して、学習カードを活用したことで、授業での振り返りや次時の「めあて」を立たせることができ、深い学びにつなげることができた。
- ・感染症予防に気をつけながら運動の楽しさを味わわせることができた。
- ・ICTの有効活用（自分たちの運動の様子を撮影する、練習方法を調べるなど）し、子供たちの運動の技能や表現力が高まっていくような授業展開ができた。
- ・グループやチームでの活動を多く取り入れ、子供たちで問題を見付け解決することができた。
- ・役割を意識した運動を取り入れることで、運動が苦手な子供でも活躍できる場を作ることができた。

##### 【高学年】

- ・一人一人が自分の課題に合わせて、活動の場、練習方法を選ぶことで、技能を高めることができた。
- ・学習の中で学習カードを活用しながら、個々の技能を高めることで対話的な取り組みができた。
- ・ICTを活用して自分の運動する姿を客観視でき、振り返る時間を設定したことで、運動だけでなく問題解決的な体育の授業を行うことができた。また、体育の実技の時間以外にも、タブレットや学習シートに記入する時間を設けたことで、児童各自の課題を把握して目標を設定できたり、児童主体で各自の課題に沿った練習方法を考えたりすることができた。

## (2) 課題

### 【低学年】

- ・ICTを活用して手本となる動きや児童の実際の動きを見せ、課題把握や修正を行わせることは難しかった。
- ・勝敗を受け入れられない児童が一部見られた。このようなご時世による運動経験不足（ゲームや試合の経験不足）が原因となっているようにも感じられる。
- ・ICTを活用しながら、学習を進めることはなかなかできなかった。
- ・ペアなど密になるような学習は避けた。
- ・勝敗を受け入れることは、なかなかできず、ゲームで負けたチームや負けそうな時に暴言等が現れることがあり、仲良く運動することに対しては課題が残った。

### 【中学年】

- ・45分間の授業で、児童に十分な体力の向上を図るまでの運動量の確保が人数の多さもありできなかった。
  - ・動画の提示などをして、動きのイメージをすることができているが、自分の動きの良しあしをイメージすることは難しかった。
- ・コロナ禍の中で運動量や距離を制限されることにより、授業によっては十分な運動時間の確保が難しかった。
- ・技のポイントの示し合いでは、運動が得意な児童は友達に伝えられるが、苦手な児童は、なかなか伝えられない場面が見られた。

### 【高学年】

- ・ソーシャルディスタンスの制限があるので、各運動自体の楽しさは感じさせるのは難しかった。
- ・コロナ渦とあって、日常で運動する機会が減ったこともあり、児童の体力の低下が著しい。